

「しんかい 2000」潜航記録一覧表

Dive list of "Shinkai 2000" (From Aug. 1993 to July 1994)

〔第9回しんかいシンポジウム報告書掲載
分以降—平成6年7月末まで。訓練・テ
ストを除く。〕

通算 潜航	潜 年 月 日	潜航地点	最大 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
697	平成5年 8月4日	39°18.50'N 142°09.00'E	304m	藤田 敏彦	東北区水産研究所	大陸斜面最上部のクモヒトデ類の高 密度ベッドの生態学的研究
698	8月16日	41°58.50'N 139°22.00'E	1793m	竹内 章	富山大学	平成5年北海道南西沖地震域の調査
699	8月17日	42°03.50'N 139°18.60'E	1741m	田中 武男	海洋科学技術センター	平成5年北海道南西沖地震域の調査
700	8月18日	41°59.80'N 139°21.00'E	1780m	倉本 真一	地質調査所	平成5年北海道南西沖地震域の調査
701	8月19日	41°58.50'N 139°22.50'E	1610m	戸沢 真介	時事通信社	平成5年北海道南西沖地震域の調査
702	8月21日	42°03.50'N 139°19.10'E	1610m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	平成5年北海道南西沖地震域の調査
703	8月22日	41°58.50'N 139°23.50'E	1335m	加藤 茂	海上保安庁水路部	平成5年北海道南西沖地震域の調査
704	9月9日	29°12.50'N 130°03.00'E	1235m	木村 政昭	琉球大学	沖縄トラフ東縁のテクトニクス—背 弧海盆形成メカニズムの解明
705	10月15日	34°00.00'N 137°42.00'E	1475m	J.P. Cadet	パリ大学	東部南海トラフ断層崖の精密観察
706	10月17日	34°09.00'N 137°54.50'E	819m	X. Le Pichon	パリ高等大学院	東部南海トラフ断層崖の精密観察
707	10月20日	34°45.00'N 138°35.50'E	1886m	新妻 信明	静岡大学	駿河湾におけるプレート境界の直視 観察
708	10月21日	34°45.20'N 138°35.50'E	1857m	大塚 謙一	静岡大学	駿河湾におけるプレート境界の直視 観察
709	10月22日	34°17.50'N 138°14.70'E	739m	山田 万樹	静岡県水産試験場	御前崎沖海山におけるキンメダイの 分布・生態の研究
710	10月26日	34°55.00'N 138°39.00'E	1517m	藤倉 克則	海洋科学技術センター	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生 態に関する研究
711	10月27日	34°55.00'N 138°39.00'E	1515m	藤倉 克則	海洋科学技術センター	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生 態に関する研究
712	10月28日	34°55.00'N 138°39.00'E	1560m	橋本 倅	海洋科学技術センター	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生 態に関する研究
714	11月15日	35°00.00'N 139°13.50'E	1187m	橋本 倅	海洋科学技術センター	相模湾初島沖におけるシロウリガイ 群集の生態調査
715	11月16日	35°00.00'N 139°13.50'E	1193m	藤原 義弘	海洋科学技術センター	相模湾初島沖におけるシロウリガイ 群集の生態調査
716	11月17日	35°00.00'N 139°13.50'E	1186m	吉田 則夫	防災科学技術研究所	深海生物の炭素同位体比と物質の循環
717	11月20日	35°01.50'N 139°12.00'E	375m	藤田 敏彦	東北区水産研究所	海底に生息する懸濁物食棘皮動物の 生態学的研究

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	最大 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
718	11月21日	35°00.00'N 139°13.50'E	1174m	石原 賢司	中央水産研究所	深海無脊椎動物の脂質の特性解明
719	11月23日	35°00.00'N 139°13.50'E	1195m	服部 陸男	海洋科学技術センター	相模湾・駿河湾及びその周辺の海洋地学的研究
720	11月26日	35°00.00'N 139°13.50'E	1175m	増澤 敏行	名古屋大学水圏科学研究所	深海生物群集の維持機構に関する地球科学的研究
721	11月27日	35°00.00'N 139°13.50'E	1200m	脇田 宏	東京大学	相模湾湧水系における溶存気体成分の挙動の地球科学的研究
722	11月29日	35°00.00'N 139°13.50'E	1200m	吉田 雅浩	海洋科学技術センター	冷水生物群集の観察及び微生物採取
723	12月2日	35°01.10'N 139°21.50'E	1445m	西田 周平	東京大学海洋研究所	杉横湾の中深層性プランクトンの分布と生態に関する研究
724	12月4日	35°01.00'N 139°21.50'E	1446m	北里 洋	静岡大学	Sediment Water Interface の構造と生物活性の観察と実験
725	12月5日	35°01.00'N 139°16.00'E	1354m	小泉金一郎	東京大学海洋研究所	相模湾海底における地磁気永年変化の研究
729	平成6年 4月5日	34°38.50'N 139°19.50'E	373m	高木 康次	静岡県水産試験場	海底斜面に沿ってキンメダイの分布と行動を観察
730	4月6日	34°50.00'N 139°11.50'E	823m	高木 康次	静岡県水産試験場	海底斜面に沿ってキンメダイの分布と行動を観察
732	4月18日	28°05.00'N 140°48.00'E	1015m	芝田 厚	海上保安庁水路部	底質の観察と岩石の採取、火口壁の観察
733	4月21日	28°03.00'N 140°46.00'E	1135m	渡辺 一樹	海上保安庁水路部	底質の観察と岩石の採取、火口壁の観察
734	4月25日	32°07.00'N 139°51.50'E	1398m	R. Fiske	スミソニアン博物館	カルデラ壁の観察と岩石の採取、堆積物の温度測定
735	4月26日	32°06.50'N 139°52.50'E	1392m	飯笹 幸吉	地質調査所	カルデラ壁の観察と試料の採取
736	4月27日	32°06.50'N 139°51.00'E	1398m	仲 二郎	海洋科学技術センター	カルデラ壁の観察と岩石の採取、堆積物の温度測定
737	4月30日	32°06.50'N 139°50.00'E	1401m	飯笹 幸吉	地質調査所	カルデラ壁の観察と試料の採取
748	7月24日	38°20.00'N 141°55.00'E	252m	和泉 祐司	宮城県水産研究開発センター	ツノナシオキアミ底付き群の行動観察

「しんかい 6500」潜航記録一覧表

Dive list of "Shinkai 6500" (From Aug. 1993 to March 1994)

〔第9回しんかいシンポジウム報告書掲載
分以降—平成6年3月末まで。訓練・テ
ストを除く。〕

通算 潜航	潜 年 航 月 日	潜航地点	最大 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
168	平成5年 9月11日	31°48.50'N 142°44.70'E	6500m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海溝海側斜面の地壘・ 地溝地形の形成
169	9月12日	31°59.00'N 141°41.70'E	6390m	Susan Debari	San Jose State Univ.	Rock sampling from the inner trench wall to determine the nature of the arc basement
170	9月13日	31°32.00'N 141°59.40'E	470m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海溝海側斜面の蛇紋岩 海山の研究・須美寿海山
171	9月14日	31°59.00'N 141°41.40'E	6344m	Susan Debari	San Jose State Univ.	Rock sampling from the inner trench wall to determine the nature of the arc basement
172	9月16日	31°31.70'N 141°59.20'E	6499m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海溝海側斜面の蛇紋岩 海山の研究・須美寿海山
173	9月17日	30°54.90'N 141°49.20'E	4056m	長沼 毅	海洋科学技術センター	鯨骨生物群集の生物/微生物学的研究
174	9月18日	30°54.90'N 141°49.20'E	4051m	和田 秀樹	静岡大学	鳥島海山山頂の鯨骨生物群集と蛇紋 岩岩体の生物地球化学的研究
175	9月19日	30°01.70'N 140°08.00'E	2679m	徳山 英一	東京大学海洋研究所	海洋性島弧上部地殻断面の探査
176	9月21日	29°29.50'N 137°31.30'E	4644m	沖野 郷子	海上保安庁水路部	四国海盆東部断層崖の地形・地質調 査
177	9月22日	28°15.30'N 137°52.60'E	4739m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	四国海盆の海洋地殻の研究
178	9月30日	19°10.50'N 147°03.70'E	3604m	Patricia Fryer	Hawaii Univ.	Investigation of possible fluid vent- ing sites and perpendine flow sites on SE arm of Pacman Seamount
179	10月1日	19°34.00'N 146°38.70'E	3275m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	マリアナ弧コニカル海山の蛇紋岩フ ローと炭酸塩チムニーの研究
180	10月2日	19°37.80'N 147°03.80'E	5755m	Patricia Fryer	Hawaii Univ.	Investigation of possible fluid vent- ing sites and perpendine flow sites on SE arm of Pacman Seamount
181	10月4日	15°28.70'N 147°50.70'E	6424m	小川勇二郎	筑波大学	沈み込み帯のテクトニクス
182	10月17日	13°23.07'N 143°55.02'E	1529m	太田 秀	東京大学海洋研究所	南西マリアナ背弧海盆熱水生物群集 の生物学的・生態学的研究
183	10月18日	13°23.06'N 143°55.04'E	1558m	笠原 順三	東京大学地震研究所	背弧海盆における熱水活動域の地震 活動
184	10月19日	13°23.08'N 143°55.02'E	1516m	Anna L. Reysenbach	Indiana Univ.	Detection and analysis of the di- versity of submarine hydro-ther- mal vent microorganisms
185	10月21日	13°23.07'N 143°55.02'E	1475m	Robert C. Vrijenhoek	Rutgers Univ.	Genetic studies of organisms col- lected at deep-sea hydrothermal vents
186	10月22日	13°15.00'N 144°01.02'E	1323m	Richard A. Lutz	Rutgers Univ.	Genetic studies of organisms col- lected at deep-sea hydrothermal vents
187	10月23日	13°23.07'N 143°55.02'E	1498m	Anna L. Reysenbach	Indiana Univ.	Detection and analysis of the di- versity of submarine hydro-ther- mal vent microorganisms

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	最大 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
188	10月24日	13°23.70'N 143°55.20'E	1484m	Juan Gonzalez	海洋科学技術センター	Isolation of hyperthermophilic bacteria and viruses from deep-sea hydrothermal vents
189	10月26日	13°08.05'N 142°50.00'E	3016m	中屋 晴恵	大阪市立大学	マリアナトラフの海底玄武岩の化学組成
190	11月1日	06°20.50'N 133°56.07'E	6468m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	パラオ海溝陸側斜面の海底変動の研究
191	11月2日	03°36.05'N 132°50.02'E	5202m	藤本 博巳	東京大学海洋研究所	アヌトラフ拡大活動の潜航調査
192	11月3日	03°37.01'N 132°50.04'E	5214m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	アヌトラフは拡大軸か?
193	11月6日	08°03.00'N 137°35.06'E	6495m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	世界で初めて潜水船でモホを横切る
194	11月7日	09°09.06'N 138°27.06'E	6133m	西澤あずさ	海上保安庁水路部	ヤップ海溝域のテクトニクス
195	11月8日	09°54.08'N 138°29.06'E	6329m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	ヤップ前弧の逆断層はモホか?
196	11月10日	10°59.09'N 134°44.03'E	4307m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	九州・パラオ古海嶺の火山活動史の研究